

新潟県

教育月報 10月号

第914号
令和8年10月1日発行
編集人、発行人
新潟県教育委員会

<今月号の記事>

	対象校種
1: 教育ニュースライン	P 1 全種
2: 新しい学校づくりについて	P 2-6 全種
3: マイ・タイムライン教室（防災教育）について	P 7 全種
4: 人権教育、同和教育の推進について	P 8-9 全種
5: インフォメーション	P 10-13 全種

教育ニュースライン

県教育に関する最新ニュースをお知らせします。

新潟県教育月間プロジェクト「NIIGATA スクールストーリー」を実施します！

○「NIIGATA スクールストーリー」

～あなたの一言が、未来の先生へのエールになる～

県では、11月1日を新潟県教育の日、11月を新潟県教育月間と定め、県民の教育に対する関心と理解を深める取組を進めています。

今年度は、新たな取組として、社会全体で教育を支える機運を育むプロジェクトを実施します。

<概要>

先生や学校に関連するエピソードを募集し、寄せられたエピソードをHP等で共有することで、先生の魅力や学校の大切さを広く伝えます。

<対象>

どなたでも参加できます。

(児童生徒、保護者、教員、地域の方など)

<期間>

令和8年10月1日～12月31日

<景品>

図書カードネットギフト1,000円分 50名様

<特設サイト>

<https://www.ohbsn.com/niigata-school-story/>



【たとえば、こんな思い出を教えてください！】

- ・あの一言に救われた
- ・思わず笑ってしまう思い出
- ・今だからわかる先生の教え
- ・忘れられない学校の思い出

**ぜひ、皆様の心に残っている先生や学校
との思い出をお寄せください！**

○中高生限定！

県LINE公式アカウント登録キャンペーン！

県では、若者からの県LINE公式アカウントの登録を促進しています。

「NIIGATA スクールストーリー」の期間中に県LINE公式アカウントを新規登録いただき、スクールストーリーの投稿へ進んでいただいた方の中から抽選で50名様に1,000円分のデジタルギフトを進呈します。

あなたの一言が、未来の先生へのエールになる

NIIGATA スクール ストーリー

新潟には心に残る先生がいます。
あなたが出会った先生との思い出を教えてください。
寄せられたエピソードを通して、先生の魅力や学校の大切さを広く伝え、
社会全体で教育を支える機運を育むプロジェクトです。

特設サイトにアクセス / あなたのスクールストーリーを投稿 / 特設サイト等で紹介 教職の魅力共有！

抽選で50名様に1,000円分の図書カードネットギフトが当たる！

～たとえば、こんな思い出を教えてください！～

- あの一言に救われた
- 思わず笑ってしまう思い出
- 今だからわかる先生の教え
- 忘れられない学校の思い出

投稿期間 令和8年10月1日(木) ▶ 12月31日(木)

対象 どなたでも参加できます！
(たとえば、児童生徒、卒業生、保護者、教員、地域の皆様など)

主催 新潟県、新潟県教育委員会

共催 新潟県高等学校PTA連合会、新潟県小中学校PTA連合会、株式会社 新潟放送

お問い合わせ 新潟県教育行政総務課企画係
TEL: 025-280-5587

〒950-8570 新潟県新潟市中央区新光町4番地1
E-mail: ngt500010@pref.niigata.lg.jp

新潟県 LINE公式アカウント 友だち募集中!

毎日開く、イベント情報など
役立つ情報を配信!

新しい学校づくりについて

高等学校教育課

はじめに

県教育委員会では、少子化が進行する中であっても、生徒・保護者の皆様から選ばれる学校づくりを進めるため、令和 7 年 3 月に高等学校等の中長期再編整備計画である「県立高校の将来構想」（以下「将来構想」）を策定し、公表しました。

この「将来構想」に基づき、具体的な再編整備計画をお示しするため、毎年、「県立高校等再編整備計画」（以下「再編整備計画」）を公表し、昨年度からは向こう 4 か年分の計画を公表しています。今年度も 7 月に令和 9 年度から令和 12 年度の計画を公表したところです。

本稿では、今年度公表した計画にも示されている令和 9 年度開校予定の国際フロンティア高等学校の開校準備状況及び令和 8 年度春に開校または設置した新しい学校、学科についての今年度の取組の様子を紹介します。

国際フロンティア高等学校

国際フロンティア高等学校は、現在の国際情報高等学校校舎内に単位制による全日制課程の高等学校として令和 9 年 4 月に開校予定です。グローバル探究科を設置し、2 学級 80 人募集を予定しています。現在、校舎内施設や県立寮、食堂の一体的な整備を進めるとともに、県内外で生徒募集に係る広報活動を行っています。

スクール・ミッションは、「世界水準の学びをとおして、より良い未来を切り拓くグローバル人材を育成する学校」です。その実現に向けた 2 つの学びの特徴と、生徒募集の取組について紹介します。

1 ケンブリッジ国際教育プログラムの導入

公立高校で全国初となるケンブリッジ国際教育プログラム認定校を目指しています。このプログラムは、知識を覚えるだけではなく、「なぜだろう」「本当にそうなのか」という疑問を出発点に、自分で調

べ、考え、確かめ、根拠をもって自分の考えを表現する学びを大切にします。

そのため、①全教員での授業改善に関する研修の実施、②国内外の先進校（プログラム認定校）視察や国際会議への参加、③国際大学（IUJ）への短期又は長期の教員派遣等により、教員全体で指導力向上に努めているところです。

また、同プログラムで導入する科目については、英語で授業を行うため、日本人教員の他、ネイティブ英語教員も採用する予定としています。



【先進校視察で研修する教職員の様子】

2 学びの空間の充実に向けた環境整備

国際フロンティア高等学校では、探究・STEAM教育や教科横断的な学びの充実に向け、①実験・測定機器を充実させ、高校段階から本格的な研究活動を行うための理科実験室の機能強化、②生徒同士や多様な大人との対話的・協働的な学びを促進する「ラーニング・コモンズ」、③高性能端末とAIを用いた分析・課題解決に取り組む「クリエイティブ・ラボ」、④留学生や海外姉妹校等との交流が可能な「グローバル・コモンズ」を整備する予定です。開校後は、これらの先進的な学習環境を活用し、地域や世界とつながる協働的な学びや探究成果の発表等を実践していく予定です。

3 広報活動・生徒募集

開校に向けた学校の認知度向上及び魅力発信のため、あらゆる機会を通じて、国際情報高等学校の生

徒・教員も広報活動に関わっています。生徒は学校紹介動画や各種 SNS への出演、教員は県内に加え「地域みらい留学」「国際教育フェア」など首都圏の生徒・保護者向けの説明会にも参加しています。こうした積極的な広報活動は、8 月 22 日（土）に開催したオープンスクールにもつながり、県内外から 170 名を超える中学生・保護者等に参加いただきました。英語の体験授業等を通じて当校の学びのイメージをつかんでいただけたことがアンケート結果からもわかりました。

開校後は、国際フロンティア高等学校と国際情報高等学校の生徒による部活動や学校行事での合同活動をはじめ、専門人材や地域と連携・協働した多様な教育活動を予定しています。

学校の詳細や開校準備の状況、秋のオープンスクールの開催状況などについては、ホームページや各種 SNS 等で順次発信します。当校が多くの皆様にとって魅力的な教育環境となるよう、引き続き開校準備を進めてまいります。

碧高等学校 [R 8 春開校]

碧高等学校は、新潟北高等学校と豊栄高等学校が統合し、単位制による全日制課程普通科の高校として開校しました。スクール・ミッションである「多彩な学びをとおして、豊かな地域社会の形成に貢献できる生徒を育成する学校」の実現を目指し、この春、第 1 期生 153 人を迎えました。本県の県立高校として 2 校目となるコミュニティ・スクールが導入され、学校運営に地域の声を積極的に取り入れるとともに、生徒主体の教育活動を重視した教育を実践しています。

生徒たちは「学校生活ガイド」のもと、社会規範に基づいた主体的な判断で生活を送ることにより、生涯を通じて主体的に学び続ける力を身に付けています。

碧高等学校の特色ある取組の核となるのが、学校設定教科「碧探究」の 1 年次共通履修科目「クリエイティブ・デザイン」（1 単位）です。この授業は、仲間と協力しながら身近な課題に向き合い、試行錯

誤を重ねて「納得解」を創り出す探究の場です。今年度の前期は長岡造形大学と連携し、普段過ごしている校舎を「観察」して「なぜこうなっているのだろう」という疑問から、新たな気づきを得るデザイン思考やカードを用いた KJ 法での分類学習などの体験的学習を行いました。後期は新潟医療福祉大学等と連携し、非言語コミュニケーション能力などの非認知能力を育成するための、様々な活動を予定しています。



【学校設定科目「クリエイティブ・デザイン」の授業の様子】

また、生徒主体の活動として、6 月 4 日（木）には 1 年生自らが企画・運営・参加のすべてを担う初の「スポーツ大会」を開催しました。午前は体育館、午後はグラウンドへと移動し、バレーボールやバスケットボール、全員参加リレーなどの競技を通じて主体性や協働する力を育み、学年全体の連帯感を高めました。また、ダンス部が 7 月 6 日（月）に東区のサマーフェスティバルに出演し、地域の子どもたちに笑顔を届けるなど、地域社会とのつながりを深めています。



【ダンス部によるサマーフェスティバル出演の様子】

令和 9 年度に向けては、2 年次の選択科目として「情報デザイン基礎」「健康科学基礎」「こども福祉基礎」「デュアルシステム基礎」を新たに学校設定科目として導入する準備を進めています。現在は大学の先生方や他校を含む高校教諭を委員としたワーキンググループを組織し、具体的な授業内容の検討を行っています。例えば、「情報デザイン基礎」においては、美術と情報の連携によるデジタル作品制作に向けたアプローチの方法、「健康科学基礎」においては、家庭科と体育の連携によるスポーツと食の関連など、具体的な指導方法の確立に向けて協議を重ねるとともに、令和 10 年度に開設される各応用科目のシラバスの作成も進めています。

「総合的な探究の時間」においては、1 年次に探究の基礎的素養を養う「手のひらサイズの探究」として、健康科学やこども福祉など、次年度に選択する分野に分かれたグループ学習に取り組んでいます。大学や専門学校による出前講義で専門知識を身に付けるとともに、身近な学校生活における問題の解決や自校の魅力の発信をとおして、課題解決能力や表現する能力をともに高めていく計画です。これらの土台の上に、年次の進行に合わせて、より広い地域社会を舞台にした地域課題の解決や連携による探究へと段階的に展開させていきます。

今後も大学や企業等との多様な連携を深め、生徒が主体的に地域へ貢献する力を養うことができる教育課程の確立を目指します。

柏崎高等学校附属中学校 [R 8 春開校]

柏崎高等学校附属中学校は、柏崎高等学校の教育資源を生かしながら、中高 6 年間を見通した新しい学びを創造することを目指して開校しました。スクール・ポリシーに掲げる「課題解決能力」と「国際的視野」の育成に向け、体験活動の充実を軸とした教育活動に取り組んでいます。

1 課題解決能力の育成

「ジュニアSSH」として、柏崎高等学校のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の成果を中学校段階から取り入れています。研究講演会や高校

生の探究成果発表会への参加を通じて、知的好奇心を高め、高校での探究活動につながる基礎を育てています。

また、地域の歴史・産業・福祉・防災などをテーマに、地域の方々との交流や多様な体験活動を行っています。実際に柏崎市、JICA、専門機関等と関わる中で課題を発見し、考えることを通じて、課題解決能力を育成しています。

表 地域人材を活用した体験活動の充実

月	体験活動タイトル、内容等
4	柏崎市政課題講話
5	ぶらりと柏崎 ニュースポーツ体験
6	ニューゆるスポーツ体験 障害理解 視覚障害の理解・手話体験 英語絵本の世界 世界って面白い！ 生成AI研修 防災学習 ビーチコーミング・アップサイクル
7	視覚障害の理解 科学のえんま市にて体験型ブース出展

2 国際的視野の育成

GCP（グローバル・コンピテンス・プログラム）は、グローバル教育を手掛けるISAがOECDの考え方に基づいて開発した通年型の教育プログラムです。週 1 時間、専任のネイティブ講師によるオーリングリッシュの授業を行い、生徒同士がペアワークによる課題解決をはじめ、様々なプロジェクトに取り組めます。生徒は英語を使って自分の考えを表現し、他者の考えを尊重しながら学ぶことを通じて、コミュニケーション力を高めています。

2 学年では JICA 関連施設の訪問や語学研修、3 学年では海外の JICA の活動視察や語学研修を計画しています。多様な価値観を尊重し、国際的な視点から社会課題を考える力を養います。

3 自分たちでつくる学校

1 期生の生徒たちは、「自分たちの学校を自分たちでつくる」という経験を重ねています。7 月に実施した小学生向けの学校説明会では、生徒自身が企画・運営を担い、本校の魅力を発表しました。自ら学校をつくり、その魅力を発信する経験を通じて、学校への愛着や誇りを育んでいます。



【 学校説明会に臨む前の円陣 】

佐渡高等学校両津キャンパス [R8 春開校]

佐渡中等教育学校校舎内に開校した佐渡高等学校両津キャンパスでは、「地域で学び、夢の実現」をモットーに、地域の人材や伝統文化を生かし、地域の皆様と共に作り上げる教育活動を目指して「総合的な探究の時間」を展開しています。

3 年間を通して「地域を知り（1 年次）」「地域と交わり（2 年次）」「地域に貢献する（3 年次）」というステップで、佐渡の未来を担う人材を育成します。

1 年次では、地元の伝統文化である能楽、鬼太鼓、樽太鼓、両津甚句・佐渡おけさを実際に体験します。地域の歴史や人々の想いに触れ、佐渡への愛着と「地域の一員」としての自覚を育てることを目的としています。

また、担い手へのインタビューを通じて、若者から見た伝統文化の魅力を言語化し、地域の資源を新しい視点から捉え直して発信する力を養います。さらに、伝統文化の人手不足や存続の危機などを知ることで、2 年次以降の地域課題の発見につなげます。

これまで行った具体的な活動として、7 月の事前学習、夏季休業中の祭り等の見学を経て、8～9 月

には両津甚句、佐渡おけさ、樽太鼓などについて、保存会や指導者から体験や指導を受けるとともに、担い手へのインタビューを実施しました。



【 着付け指導の様子 】

10 月以降は、佐渡の伝統芸能である「鬼太鼓」を継承する方々から太鼓や舞を学びます。また、佐渡中等教育学校の生徒と共に「能楽」の体験学習を行い、2 月の成果発表「伝統文化の魅力発信プレゼンテーション」へとつなげていきます。

2～3 年次には、深く知った佐渡の課題を発見し、その解決に向けた取組を検討します。こうした活動を通じて、生徒たちが地域について主体的に考え、地域社会に貢献できる人材へと成長することを目指しています。

十日町高等学校クロス探究科 [R8 春設置]

十日町高等学校クロス探究科では、「探究的な学び」を教育活動の柱に据え、生徒が主体的に課題を発見し、多様な人と協働して考える力の育成に取り組んでいます。大学や地域と連携した学習活動も積極的に展開しています。

1 探究活動について

1 学年では、「問いを立てる力」や「根拠をもとに考える力」の育成に取り組んでいます。1 学期は、マインドマップや未来デザインシートの作成、発表などを通して、自己理解や他者との関わりについて学びました。

5 月には、新潟大学経済科学部の高澤陽二郎先生

による探究講演会を実施しました。また、新潟大学の学生との交流を通して、大学での学びや進路選択について話を聞き、自身の将来と探究活動とのつながりについて考えました。

9 月には、大正大学の前田長子教授及び学生の皆様を招き、データを活用して十日町市の未来を考える授業を実施しました。人口動態や産業構造などのデータを読み解き、地域の課題や可能性を発見するとともに、生徒自身が未来への提案を行いました。データサイエンスの基礎についても学びました。



【 前田長子教授 データサイエンスの授業風景 】

2 東京研修の実施

8 月には東京研修を 2 日間実施しました。明治大学、法政大学及び日本科学未来館を訪問し、大学の教育・研究環境や科学技術等に触れるとともに、現役大学生との交流を行いました。

また、警視庁及びみずほフィナンシャルグループを訪問し、公共機関や企業が担う役割、社会課題への取組について講話をいただき、多様な視点から社会を捉える機会としました。

3 クロス探究科コンソーシアムの設立

7 月には、「十日町高等学校クロス探究科コンソーシアム」を設立しました。十日町市、十日町市教育委員会、県内外の大学、地域団体等が参加し、クロス探究科を中心とした探究活動を支援する体制として発足しました。

設立会議では、教育方針や活動状況を共有し、充実した探究活動に向けて意見交換を行いました。参加者には探究授業も見学していただき、地域全体で

生徒の学びを支える体制づくりを進めています。

4 次年度に向けて

令和 9 年度は、コンソーシアムとの連携をさらに深め、大学教員や地域の専門家との協働による探究活動の充実を図ります。フィールドワークや成果発表の機会も拡充し、2 学年では学問的な視点を持って課題研究に取り組みます。

地域の豊かな教育資源と高等教育機関の専門的知見を結び付けながら、生徒一人一人の可能性を広げ、これからの社会で活躍できる人材の育成を目指します。

おわりに

県教育委員会では、引き続き「将来構想」に基づき、生徒一人一人の興味・関心や進路希望に応じた多様な学びを実現し、生徒・保護者から選ばれる学校づくりを進めていきます。

「将来構想」でお示しした「産業高校」や「セルフデザインハイスクール」の設置についても、「再編整備計画」においてお示ししています。具体的な内容については、決まり次第、順次公表してまいります。今後も、地域や大学、企業等との連携を深めながら、各校の特色ある学びをさらに充実させていきます。

新しい学校・学科の取組に加え、県立高等学校等の日々の教育活動や特色ある取組については、メディアプラットフォーム「note」の教育委員会公式ページにて発信していますので、是非ご覧いただき、各学校の魅力を知っていただければと思います。



【新潟県教育委員会公式「note」】

【お問い合わせ】
高等学校教育課 将来構想推進室
電話 025-280-5614

マイ・タイムライン教室(防災教育)について

河川管理課

はじめに

近年、豪雨災害が激甚化・頻発化する中、災害時に「いつ」「何をするか」を整理し、主体的な避難行動に繋げる防災計画「マイ・タイムライン」の重要性が高まっています。新潟県では、河川管理課と砂防課が連携し、学校教育を通じてこの取組を家庭や地域へ広げるため、令和 3 年度から「新潟県マイ・タイムライン教室」を全県展開しています。

マイ・タイムライン教室

1 これまでの取組の歩み

令和 2 年度に教材・指導書を整備し、津南中学校、村上第一中学校をモデル校としてマイ・タイムライン作成教育の「自校化(各学校の防災教育に取り入れてもらうこと)」の支援を始めました。令和 3 年度以降は、地域振興局が主体となり、支援要請のあった学校で授業を実施しています。小・中・高校生を支援対象としており、誰もが分かりやすく学べるよう教材の内容を改定しました。今では毎年度 10 校前後で支援を行っています。

令和 5 年度には市町村毎の取組状況調査を実施し、地域による取組の差が明らかになりました。また、令和 6・7 年度には自校化に関するアンケートを実施し、学校現場での定着状況の調査を行いました。



2 課題と令和 8 年度以降の取組方針

マイ・タイムライン教室の取組は県内で徐々に広がっているものの、県全域に十分浸透しておらず、認知度は高いとは言えない状況です。

今後の課題としては、より多くの学校にこの取組を知ってもらい、マイ・タイムラインの作成を定着させ、自校化を推進することが挙げられます。

この課題に対応するため、令和 8 年度以降は、アンケート調査を継続して取組の効果を検証、改善するとともに、ホームページや関係機関との会議等を通じて情報発信を強化し、学校への認知度向上を図ります。

おわりに

今後もマイ・タイムライン教室を通じた防災教育の支援を継続し、より実効性の高い防災教育の定着を目指してまいります。この記事やホームページをご覧いただき、取組に関心をお持ちいただいた学校の皆さまは、ぜひ河川管理課または各地域振興局までお問い合わせください。

【お問い合わせ】
河川管理課 河川海岸維持係
電話 025-280-5414



人権教育、同和教育の推進

義務教育課

はじめに

新潟県では、インターネットによる人権侵害の防止に向けた啓発の推進をはじめ、様々な分野の人権施策を進めています。いずれも今日的かつ重要な課題であり、その解決に向けた取組を着実に進めていくことが求められています。現在、13の個別の人権課題を掲げ、それぞれの解決に向けた取組を推進しています。

人権教育についての考え方

1 人権教育の目的と目標

人権教育の目的は「人権尊重の精神を涵養すること」にあります。そのために、「一人一人の児童生徒がその発達段階に応じて、人権の意義・内容や重要性について理解し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができ、それが様々な場面や状況下で具体的な態度や行動に現れるようにすること」を学校における人権教育の目標としています。

2 人権教育を通じて育てたい資質・能力

人権教育は、人権に関する知的理解と人権感覚の涵養を基盤として、様々な資質や能力を育成し、発展させることを目指す総合的な教育です。人権教育を通じて育てたい資質・能力は以下の3つの側面から構成されています。

- ①人権に関する知的理解に深くかかわる知識的側面
- ②人権感覚に深くかかわる価値的・態度的側面
- ③人権感覚に深くかかわる技能的側面

これらの資質や能力を育て、自分の人権とともに他者の人権も守るための実践行動に結びつけていくことが大切です。

人権教育研究推進事業

文部科学省の「人権教育研究推進事業」は、学校教育における人権教育の充実を図るため、教育委員会や学校を指定して実践的な研究を行い、その成果

を全国に普及する事業です。新潟県教育委員会では、各地域の実情に応じた人権教育の実践を促し、その成果を県内全域に普及させていくために、文部科学省からの委託を受けて人権教育研究推進事業を実施しています。

昨年度は、人権教育に重点的に取り組む総合推進地域として阿賀町を、また指定校として上越市立東本町小学校及び柏崎市立南中学校を指定し、本事業を展開しました。阿賀町では、新潟水俣病について学ぶことをとおして、正しい理解のもと、郷土に誇りをもって社会に羽ばたける人材の育成を目指しました。東本町小学校では、自分自身の言葉で差別事象への考えやおもいを表したり、他者との「対話」を通して思考を深めたりする活動の充実に取り組みました。南中学校では、校内において「人権」を考える機会として全校道徳を行い、命や人としてより良く生きる権利についての学びを深めました。



【柏崎市立南中学校 授業の様子】

今年度は、阿賀野市立堀越小学校及び柏崎市立南中学校を指定校として、実践研究を進めています。授業公開等の詳細につきましては、決まり次第御案内いたします。

文部科学省では、人権教育の充実に資する事例及び資料等を収集・集約・発信するための機能を有したウェブサイト「人権教育アーカイブ」を公開しています。[\(https://jinken.mext.go.jp/\)](https://jinken.mext.go.jp/) 全国の過去の実践校の取組等も紹介されていますので、各学校の実践の参考に御活用ください。

同和教育を中核にした人権教育

新潟県教育委員会では、同和教育を中核とした人権教育の推進を基本姿勢としています。学校においては、差別を見抜き、差別をなくそうとする児童生徒の育成を目指し、「差別の現実学び、被差別の立場に立って寄り添う」という考え方のもと、多くの実践が積み重ねられてきました。

一方で、同和問題をはじめとする様々な差別や人権侵害は、今なお社会に存在しており、その解決は私たち一人一人の課題です。今後も、同和教育基本方針の趣旨やこれまでの実践の成果を人権教育へと生かし、「同和問題の解決なくして真に人権が尊重される社会の実現はない」という認識のもと、様々な人権課題の解決に向けて、同和教育を中核とした人権教育を一層推進していく必要があります。同和教育を実践するうえで、大切にしたい指導のポイントがあります。次に示す6つのポイントを、授業を構想する際の参考や、授業を振り返る際の視点として御活用してください。

指導のポイント

差別を他人事とせず、自分自身の問題として受け止める指導をしていますか。

「えた・ひにん」などは蔑称（せんしょう）であることを認識し、この言葉の重みを十分に踏まえて児童生徒に指導していますか。

県内の被差別部落は少数散在であることから、被差別部落の児童生徒が在籍しているという心構えで指導に当たっていますか。

差別による貧困や悲惨な事例のみを取り扱うのではなく、被差別部落が文化や医学の発展に寄与したことを取り上げ、プラスイメージを育てる指導をしていますか。

被差別部落は地域によって実態が異なります。地域の実態、保護者の思いや願い等を的確に受け止めて指導に当たっていますか。

歴史的な知的理解にとどめず、「差別をしない、差別を許さない、差別に負けない」という視点で指導していますか。

【令和4年3月 教職員研修の手引き】

新潟県内には少数散在型の被差別部落が多数あります。私たちの目の前にも様々な差別や問題に苦しんでいる児童生徒がいます。こうした児童生徒に目を向け、寄り添った指導をすることが大切です。

かかわる同和教育

「かかわる同和教育」とは、教職員が様々な課題を抱える幼児児童生徒や保護者と時間をかけて話し合い、家庭訪問や地域訪問を繰り返しながら教師自らの問題と位置付け、共に生きようとするものです。

当事者である保護者や児童生徒の思いを十分に理解しながら授業実践を進めるためには、教師自身が

差別の現実について深く学ぶことが重要です。そのためには、教師が当事者の人々と対話し、そこから学んだ差別の実態を自らの課題として受け止めた上で授業に臨むことが求められます。

教職員が児童生徒一人一人の思いや願いに寄り添い、人権尊重を教育活動の基盤として、児童生徒に差別を見抜き、差別の解消に向けて主体的に行動する力を育みましょう。

人権教育、同和教育に関する公開授業

新潟県教育委員会では、人権教育、同和教育の推進を業務の1つとする児童生徒支援加配教員の配置校において、授業公開研修の機会を設けています。同和教育の充実には、教職員が実践に学び、指導の在り方を絶えず更新していくことが求められます。本研修は、授業実践に触れ、児童生徒の確かな人権感覚を育成するための具体的な手立てを学ぶ機会です。研修で得た知見を日々の授業に生かし、各学校における人権教育の一層の充実につなげていくために、積極的に御参加ください。

各学校の授業公開研修についてはすでに案内しています。参加を希望する方は、教員研修プラットフォーム（Plant）で申し込みを行ってください。

<今年度の授業公開研修実施校>

- | | |
|-------------|------------|
| ・上越市立東本町小学校 | 9月 9日（水） |
| ・新発田市立猿橋中学校 | 10月 20日（火） |
| ・新発田市立七葉小学校 | 11月 19日（木） |
| ・上越市立城北中学校 | 11月 20日（金） |
| ・妙高市立新井中央学校 | 12月 10日（木） |

おわりに

人権教育、同和教育の推進は、すべてのこどもたちが自他の人権を尊重しながら安心して学び、成長できる学校づくりの基盤となるものです。今後も、人権尊重の精神を育む教育の充実に努めていきたいと思います。

【お問い合わせ】

義務教育課人権教育班
電話 025-280-5607

インフォメーション

●県立近代美術館(長岡市)

きもののヒミツ 友禅のうまれるところ —京都千總コレクションを中心に—



本展では、創業 470 年を越える友禅の老舗・千總の豊富なコレクションを中心に、京都国立近代美術館の所蔵品等を加えて、近世のきもの、雛形本、近代京都画壇の絵画、染織図案、工芸品、人間国宝のきものなど、さまざまな作品や資料を通じて、平面と立体のあいだを行き来するきものに施された独自のデザインの工夫と、その時代背景をご紹介します。

- 会 期 9 月 12 日(土)～11 月 15 日(日)
- 観 覧 料 一般 1,800 円(1,600 円)
大・高生 1,000 円(800 円) 中学生以下無料

「コレクション展 2026 年度 第 3 期」

- ◇ 作品の中のきもの
- ◇ 祈りと叫び 宗教主題のドイツ表現主義版画を中心に
- ◇ 近代美術館の名品
- 会 期 9 月 8 日(火)～11 月 23 日(月・祝)
- 観 覧 料 一般 430 円(340 円)
大・高生 200 円(160 円) 中学生以下無料

※()内は有料 20 名以上の団体料金。
※大・高生は学生証をご提示ください。
※障害者手帳をお持ちの方は観覧料免除。
手帳をご提示ください。

- 休館日 毎週月曜日(ただし、10 月 12 日(月)は開館、13 日(火)が休館)
- 開館時間 午前 9 時～午後 5 時
(観覧券販売は午後 4 時 30 分まで)

「親子ふれあいデー」

- 中学生以下の子を同伴する保護者のコレクション展観覧料が無料になります。(企画展は対象外)
- ※10 月の親子ふれあいデーは、10 月 10 日(土)です。

県立近代美術館
所在地 長岡市千秋 3 丁目 278-14
TEL: 0258-28-4111
URL: <https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

●県立歴史博物館(長岡市)

秋季テーマ展示

「堀直奇の系譜

—椎谷藩と村松藩—」

堀直奇(ほり なおより)は、慶長 3 年(1598)に越後に入封した堀家の一族で、長岡・村上等の城主として、地域発展の礎を築きました。また、弟は椎谷藩(陣屋所在地: 柏崎市椎谷)、次男は村松藩(陣屋所在地: 五泉市村松)の祖となります。本展では、本年 3 月に新潟県指定文化財となった「堀直奇像」などゆかりの資料から江戸時代の堀家の足跡を振り返ります。



新潟県立歴史博物館所蔵

- 会 期 9 月 19 日(土)～11 月 3 日(火・祝)
- 開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時
- 会 場 県立歴史博物館企画展示室
- 休 館 日 毎週月曜日
(月曜が祝休日の場合は翌平日)
- 観 覧 料 常設展観覧料でご覧いただけます
(一般 520 円、高校・大学生 200 円、
中学生以下無料)
- ※学校団体でご観覧の場合は、新潟県内の学校は無料です。事前にお申込みください。

県立歴史博物館
所在地 長岡市関原町 1 丁目 2247-2
TEL: 0258-47-6130
URL: <https://nbz.or.jp/>

●県立自然科学館（新潟市）

**プラネタリウム秋冬の番組
プラネタリウム版
「チ。 —地球の運動について—」**

大人気アニメ初のプラネタリウム化！15 世紀のヨーロッパ某国を舞台に、「地動説」を命懸けで探求した人々を描いたフィクション作品。

現代の最新宇宙研究へとつながる壮大な天文学の世界をお楽しみください。



◎魚豊／小学館／チ。 —地球の運動について—製作委員会

○会 期 9 月 19 日(土)～3 月 15 日(月)

○会 場 1 階 プラネタリウム

○観 覧 料 大人 210 円
小・中学生 100 円

※別途入館料(大人 580 円/小・中学生 100 円)

※障害者手帳、療育手帳をお持ちの方は入館料・観覧料が免除になります。券売所で御提示ください。

○休 館 日 火曜日(祝日の場合は開館)、
11 月 4 日(水)

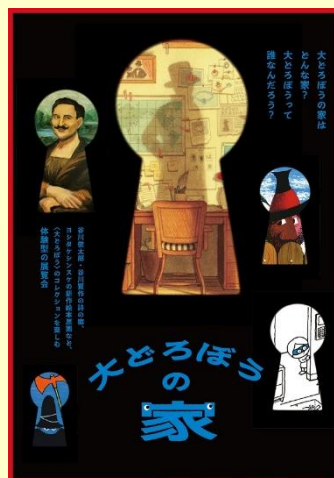
○開館時間
(平日) 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分
(土日祝) 午前 9 時 30 分～午後 5 時
(入館券の販売は閉館 30 分前まで)

県立自然科学館では平日に限り、団体用プラネタリウムや実演プログラムを用意しています。詳しくは[こちら](#)を御覧ください。

県立自然科学館
所在地 新潟市中央区女池南 3-1-1
TEL:025-283-3331
URL: <https://www.sciencemuseum.jp/>

●県立万代島美術館(新潟市)

【企画展】大どろぼうの家



有名な大どろぼうが引退を決意し、最後の盗みに出かけました。今こそチャンスです。留守になった大どろぼうの家にこっそり忍び込みましょう。家の中には、長年盗んできた豪華なお宝や偏愛コレクション、そして、なんと宇宙まで飾られているようです。本展は、8つの部屋をまわりながら、大どろぼうの秘密に迫る体験型の展覧会です。

○会 期 9 月 19 日(土)～12 月 20 日(日)

○休 館 日 10 月 5 日(月)、19 日(月)、26 日(月)、
11 月 9 日(月)、16 日(月)、30 日(月)、
12 月 7 日(月)、14 日(月)

○開 館 時 間 午前 10 時～午後 6 時
(観覧券の販売は午後 5 時 30 分まで)

○観 覧 料 当日券／一般 1,600 円(1,400 円)
大学・高校生 1,200 円(1,000 円)

※中学生以下無料

※()内は有料 20 名以上の団体料金。

※障害者手帳をお持ちの方は観覧料免除。

【どろぼう絵本の読み聞かせ会】

読み手: 水島知子(フリーアナウンサー・絵本専門士)／三石佳那(BSN アナウンサー)

日時: 11 月 8 日(日) 午前 11 時／午後 2 時
(各 30 分程度)

場所: 当館ロビー(申込不要)

県立万代島美術館
所在地 新潟市中央区万代島 5-1 朱鷺メッセ内
万代島ビル 5 階
TEL:025-290-6655
URL:<https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>

●新潟県民会館（新潟市）
全国共同制作オペラ ヴェルディ/
歌劇「イル・トロヴァトーレ」



15世紀スペインを舞台にした、復讐と愛を情熱的な音楽と劇的な展開で描く、ヴェルディ屈指の悲劇オペラ

- 日 時 11月29日(日)午後2時00分開演
○会 場 新潟県民会館 大ホール
○料 金 S席：12,000円 A席：8,000円
B席：5,000円 B席学生：2,000円
※未就学児入場不可。

新潟県民会館
所在地 新潟市中央区一番堀通町3-13
TEL:025-228-4481
URL:<https://www.niigata-kenminkaikan.jp/>

●新潟県民会館（新潟市）
創立 45 周年記念
鼓童十二月公演 2026



宣伝美術：金森理恵・安藤聡 写真：岡本隆史

これまでの鼓童を支えてきた代表的な演目を中心に、幅広い世代から集結した出演者による特別な舞台をどうぞお楽しみください。

- 日 時 12月12日(土)・13日(日)
各日午後2時00分開演
○会 場 新潟県民会館 大ホール
○料 金 S席：7,000円 A席：6,000円
※未就学児入場不可。

新潟県民会館
所在地 新潟市中央区一番堀通町3-13
TEL:025-228-4481
URL:<https://www.niigata-kenminkaikan.jp/>

●津南町文化センター(津南町)

音楽探偵バッハの事件録

怪盗モーツァルトのたくらみ



クラシック×演劇×謎解きの新感覚コンサート
舞台は豪華客船のオークション。そこに、怪盗モーツァルトからの予告状が届きます。観客の皆さんは探偵となり、文化センター内に隠されたヒントをもとに事件の解決に挑む参加型のコンサートです。謎解きは小学校高学年向けとなっており、親子で協力しながら謎を解き明かしてください。

- 期 日 11月14日(土)
13時開演(12時30分開場)
- 会 場 津南町文化センター
- 観 覧 料 一般 2,000 円
中学生以下 1,000 円
※当日各 500 円増
- 主 催 新潟県、津南町教育委員会、令和 8 年
度新潟県文化芸術創造拠点形成事業
実行委員会

津南町文化センター
所在地 中魚沼郡津南町下船渡丁 2806-3
TEL:025-765-3134
URL:<https://www.town.tsunan.niigata.jp/site/kyoiku/bahha2026.html>

にいがた
教育の日
KYOIKU NOV.1

※PDF ファイルで御覧の方は、下線部(Web ページアドレス)をクリックすると、直隷当 Web ページにジャンプしますので御活用ください。
※県ホームページからバックナンバーも御覧いただけます。
新潟県 教育月報」で検索してください。

教育月報 

発行所 新潟県教育庁総務課
所在地 〒950-8570
新潟市中央区新光町 4 番地 1
電 話 025-280-5587
F A X 025-256-8624
E-mail
Web 版 URL :
<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/>
本紙に関する御意見がありましたら、お寄せください
<無断転載を禁ず>